

# Contents

## 第1章 データベース、看護理論、そして看護診断へ

① 患者情報収集用紙(データベース)とは	2
●活用される「データベース」にする	2
・「データベース」はなんのため？	2
・「データベース」の項目の立て方は？	3
② 看護理論を考えたデータベース作成のポイント	5
●統一されたカルテに、統一されたデータベースを	5
・看護理論はなんのため？	5
・さまざまな看護理論	5
オレムの「セルフケア理論」	5
ロイの「適応理論」	6
マズローの「欲求の階層」	7
・どの看護理論を採用するか	8
③ 電子カルテの発展	11
●医療のIT化とそれを支えるシステム	11
・医療現場のIT化	11
IT化とは	11
電子カルテとエビデンス	11
わが国のIT化の流れと現状	12
・電子化の基本:共通言語の必要性	13
医師の場合	13
看護師の場合	14
看護成果分類(NOC)と看護介入分類(NIC)	14
・次世代医療ICT基盤協議会	15
・ビッグデータ活用とその現状	15
DPC(包括医療費支払い制度、診断群分類包括評価)	16
都立・公社14病院の「診療データ一元化」	16
日本看護協会「DiNQL」	16
・電子カルテ導入のメリット	17
・IT化を支える専門職	17
診療情報管理士	18
医療情報技師	18
POS医療認定士	19
④ データベースと看護診断との関係	21
●アセスメントの視点—ヘンダーソンとの対比	21

## 第2章 看護診断を導く「データベース」のアセスメントのためのヒント

① ヘルスプロモーション Health Promotion .....	30
●「ヘルスプロモーション」とは .....	30
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	31
・1 健康自覚 .....	33
・2 健康管理 .....	33
② 栄養 Nutrition .....	42
●「栄養」とは .....	42
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	43
・1 摂取 .....	45
・2 消化 .....	51
・3 吸収 .....	52
・4 代謝 .....	52
・5 水和 .....	54
③ 排泄と交換 Elimination and Exchange .....	58
●「排泄と交換」とは .....	58
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	59
・1 排尿機能 .....	59
・2 消化管機能 .....	61
・3 外皮機能 .....	64
・4 呼吸機能 .....	64
④ 活動／休息 Activity/Rest .....	69
●「活動／休息」とは .....	69
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	71
・1 睡眠／休息 .....	71
・2 活動／運動 .....	73
・3 エネルギー平衡 .....	79
・4 心血管／肺反応 .....	80
・5 セルフケア .....	87
⑤ 知覚／認知 Perception/Cognition .....	89
●「知覚／認知」とは .....	89
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	89
・1 注意 .....	90
・2 見当識 .....	91
・3 感覚／知覚 .....	96

· 4 認知 .....	96
· 5 コミュニケーション .....	98
<b>(6) 自己知覚 Self-Perception .....</b>	<b>105</b>
●「自己知覚」とは .....	105
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	106
· 1 自己概念 .....	108
· 2 自尊感情 .....	110
· 3 ボディイメージ .....	111
<b>(7) 役割関係 Role Relationships .....</b>	<b>113</b>
●「役割関係」とは .....	113
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	114
· 1 介護役割 .....	114
· 2 家族関係 .....	115
· 3 役割遂行 .....	116
<b>(8) セクシュアリティ Sexuality .....</b>	<b>117</b>
●「セクシュアリティ」とは .....	117
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	118
· 1 性同一性 .....	118
· 2 性機能 .....	120
· 3 生殖 .....	124
<b>(9) コーピング／ストレス耐性 Coping/Stress Tolerance .....</b>	<b>125</b>
●「コーピング／ストレス耐性」とは .....	125
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	126
· 1 トラウマ後反応 .....	126
· 2 コーピング反応 .....	127
· 3 神経行動学的ストレス .....	128
<b>(10) 生活原理 Life Principles .....</b>	<b>130</b>
●「生活原理」とは .....	130
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	131
· 1 値値観 .....	131
· 2 信念 .....	131
· 3 値値観／信念／行動の一致 .....	132
<b>(11) 安全／防御 Safety/Protection .....</b>	<b>134</b>
●「安全／防御」とは .....	134
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント .....	134
· 1 感染 .....	135

・2 身体損傷	136
・3 暴力	143
・4 環境危険	144
・5 防御的プロセス	146
・6 体温調節	147
<b>(12) 安楽 Comfort</b>	<b>151</b>
●「安楽」とは	151
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント	151
・1 身体的安楽	151
・2 環境的安楽	153
・3 社会的安楽	154
<b>(13) 成長／発達 Growth/Development</b>	<b>156</b>
●「成長／発達」とは	156
●類(クラス)ごとのアセスメントのポイント	157
・1 成長	157
・2 発達	157

### 第3章 間違えやすい看護診断名の鑑別診断

<b>(1) 鑑別診断の具体例</b>	<b>162</b>
●定義をよく読む	162
●迷う看護診断名の判断	163

### 付録 NANDA-I看護診断の領域に沿った看護記録用紙の実際例

・入院時看護データベース	170
・問題リスト	177
・看護計画	178
・経過記録	179
・フローシートA	180
・フローシートB	181
・看護サマリー(退院・転科・中間)	182
・電子カルテのフローシート(発熱の例)	183
<b>INDEX</b>	<b>184</b>